

## Y2-3

### 当院のNST事務局の役割

原町赤十字病院 NST

○田村 直人、湯浅 幸二、荻原 力也、  
橋爪 直紀、菅谷 房夫、金井 典子、  
剣持 る美、宮崎 厚子、内田 信之

【背景】当院は群馬西北の山間部に位置する吾妻地区の地域中核病院である。当院のNSTは、平成17年6月の発足当初より、地域の医療介護施設との連携を視野に入れた活動を行ってきた。

【目的】当院のNSTの事務局は、発足時より医事課のスタッフが中心に務めてきた。今回わたしたちは、NST事務局としての仕事内容を改めて確認し、今後の展望について検討した。

【院内での活動内容】1.委員会や勉強会の案内の掲示  
2.NST関連の診療報酬の推移の紹介（栄養治療計画書、摂食嚥下機能療法など）【地域連携の活動内容】  
1.定期的な地域との協議会（吾妻地区NST連携協議会）の事務局としての、委員会や勉強会の案内  
2.吾妻地区NST連携協議会のメーリングリストの管理  
3.吾妻地区胃ろうネットワークの事務局（紹介患者の窓口など）

【今後の展望】NST事務局の活動は、多職種が様々な分野で行うため、事務局の役割は極めて重要であると考えている。特に当院の場合、地域の医療介護施設との連携が強く、その窓口となる事務局の仕事は多岐にわたる。今後は、当院のNSTばかりでなく、吾妻地区のNSTの事務局として、その活動が今まで以上にスムーズに行えるよう、吾妻地区の医療に少しでも貢献できるよう、一層の努力をしていく予定である。

## Y2-4

### 薬剤師のNSTにおける役割について

小川赤十字病院 NST 薬剤部<sup>1)</sup>、  
小川赤十字病院 薬剤部<sup>2)</sup>、  
小川赤十字病院 NST<sup>3)</sup>、  
小川赤十字病院 院長<sup>4)</sup>  
○渡邊 亜希子<sup>1)</sup>、加勢 訓弘<sup>2)</sup>、清水 聡<sup>3)</sup>、  
宇田川 洋子<sup>3)</sup>、浅野 孝雄<sup>4)</sup>

【はじめに】当院のNSTは医師、薬剤師、管理栄養士、看護師、臨床検査技師、放射線技師、医療事務からなるコアスタッフと各病棟の看護師からなる病棟スタッフで構成されている。NSTにおいては、スタッフ共通の役割と専門的知識を生かした役割がある。今回、当院における薬剤師の役割について報告する。

【NSTにおける薬剤師の役割】1. NSTコアスタッフとしての役割：スクリーニング、栄養評価、栄養投与ルートの検討、投与栄養の検討、再評価2. TPN、PPNの熱量のみではなく、他の栄養成分、電解質、微量元素等輸液の特徴を理解し、患者にあったものを選択できるよう専門的知識を生かす。3. 経腸栄養剤には、薬品、食品があるが、両方の特徴を理解し、栄養処方作成に役立てる。4. 経鼻胃管、PEG等から栄養剤を投与されている患者の薬剤投与に関し、アドバイスをする。（簡易懸濁法、粉碎、投与不可等）5. 経腸栄養剤、薬剤両方を投与されている患者の相互作用を検討する。6. 嚥下障害患者において、咳・嚥下反射に作用する薬剤を検討する。7. 胃排泄機能低下患者における、消化機能改善剤の投与を検討する。

【結語】NSTにおける薬剤師の活動は、薬剤師の職種をどう発揮したらよいか悩むこともあり、又、薬剤師のあいだでも、NSTの中で薬剤師が活躍する場は少ないと思われがちである。しかし、NST薬剤師が介入することにより輸液や医薬品経腸栄養剤の検討に加え、食品との相互作用、嚥下障害や胃排泄機能低下患者への薬剤投与の提案など明確化することにより、薬剤部全体へ栄養療法をフィードバックすることができた。